

### 第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画(改定案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
○ごみの減量化・リサイクル（家庭ごみ有料化の導入について）		
1	<p>34 ページの「主な施策 3 家庭ごみ有料化の導入」に向けては、慎重かつ具体的に検討し、その経過を市民に知らせてほしい。必ず考えるべきことだが、影響も大きい結果を知らせるだけになってはいけない。</p>	<p>「家庭ごみ有料化」の目的としては、一般のごみの排出量に応じてごみ処理経費の一部を直接負担する仕組みによる受益者負担の公平化、循環型社会形成に向けた施策の経費確保、ごみに対する住民の意識の改革、ごみの発生・排出抑制などが挙げられます。</p>
2	<p>家庭ごみ有料化に対する明確な目的や理念のないまま、家庭ごみ有料化を導入しようとしたが、家庭ごみの減少が続いており、導入に足踏みしているように見える。</p> <p>なぜ、有料化するのかという理由を市民に納得できるように説明できなければ、ごみの減量化が進めば、有料化を導入する必要がなくなると市民にアピールし、ごみの減量化を進めていく方が実質的な効果があるのではないかと考えられる。</p>	<p>なお、ごみの減量が進まない状況が続けば、家庭ごみの有料化の実施を検討し、市民の十分な理解と協力が得られるよう、目的や必要性、減量効果等について、積極的な情報発信を行う必要があると考えています。</p>
3	<p>家庭ごみ有料化についての記載があるが、その前にやるべきことがたくさんある。</p> <p>市民意識調査では、ペットボトル、缶・びん、プラスチック製容器包装では、「捨てたいときに捨てられない」が上位を占める。</p> <p>プラスチック製容器包装やペットボトル等の収集回数を増やす、不燃ごみの申込を不要にする、集団回収以外の紙類の行政回収をするなど、ごみの減量の方法は他にもある。</p> <p>ごみ減量の方法がいくらかでもあるのに何もしていないままの家庭ごみの有料化の導入は疑問である。また、有料化は一時的な減量効果があるが、揺り戻しがあるとの調査結果もある。</p> <p>家庭ごみ有料化の導入で利便性は大きく低下する。それよりはまず、分別しやすい環境づくりに尽力すべきである。収集方法の利便性の向上と家庭ごみ有料化の検討停止を求める。</p>	<p>家庭ごみ有料化については、環境負荷（ごみ排出量）に応じた受益者負担の公平化、ごみの発生・排出抑制等につながるものであり、ごみの減量化・リサイクル推進における効果的な施策のひとつとしています。</p> <p>また、有料化以外のごみの減量化・リサイクル推進施策についても実施・検討を行っており、より適切な家庭系ごみ分別・収集運搬制度に向けて、各分別収集品目の収集量や収集コスト、市民ニーズなどを踏まえ、引き続き検討していきます。</p>

### 第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（改定案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

○ごみの減量化・リサイクル（使い捨てプラスチック削減）について		
4	<p>ごみの減量化・リサイクルへの取組がより厳しく、より早期に求められている。特にプラスチックごみによる海洋汚染は深刻になっている。</p> <p>スーパーや飲食店のプラスチック容器の削減策は進めているのか。プラスチック製品の使用を減らすためにも民間連携で踏み込んだ計画策定をしていく必要があるのではないか。</p>	<p>使い捨てプラスチック削減に向けた取組のひとつとして、市内食品スーパー等と「堺市域における使い捨てプラスチック削減に関する協定」を締結しており、スーパー等民間事業者と連携した取組を今後も進めていきます。</p>
○ごみの減量化・リサイクル（情報発信）について		
5	<p>学校で、環境についての学習内容はあるが、具体的なごみの分別や堺市のごみ処理の状況等の環境学習の機会が全くない。基本計画の中に小中学校で堺市独自の環境学習実施を盛り込み環境学習を進めてもらいたい。</p>	<p>関係部局と連携し、小学生等を対象としたごみの減量化・リサイクルやごみと資源の具体的な分別等に関する出前講座、清掃工場等における社会見学等の環境学習を実施しています。</p> <p>小中学生を対象とした環境学習の更なる充実に向け、関係部局と連携、検討を進めていきます。</p>
6	<p>情報発信手法として、「広報さかい」「回覧板」をなくさないでほしい。ツイッター、SNS、ホームページにとってかわれないものである。</p>	<p>年齢やごみへの関心度に応じた情報発信を行うため、SNS や市ホームページ等の電子媒体や広報さかいなどの紙媒体等様々な手法を検討・活用します。</p>
7	<p>廃棄物焼却施設等の見学会がコロナの影響で、中止が続いている。コロナ下でも市民の関心をつなぎとめていくためにも、広報を継続していくことは大事ではないか。Web等を活用すればより広い地域にも広げていくことができる。</p>	<p>廃棄物焼却施設等の見学会は、新型コロナウイルスの影響により中止していますが、収束後は再開予定であり、今後も Web 等 ICT の積極的な活用に努め、様々な情報発信手法を用いて、ごみの減量化・リサイクルに関する情報発信を行います。</p>
○ごみの減量化・リサイクル（その他）について		
8	<p>なぜペットボトルの回収量は減っているのか。</p> <p>また、なぜ減ったと分析しているのか。</p>	<p>本市では、近年ペットボトル回収量は増加しています。市民の生活様式等の変化により、ペットボトルの需要が増加、ペットボトルの販売量等と同様に本市における使用量が増加していると考えています。</p>

### 第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画(改定案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

9	<p>21 ページ、図 3.4.2 生活ごみ組成分析調査結果の推移の「減量化・リサイクルが不可能なもの」とは何か。</p> <p>またなぜ割合が増えたと分析しているのか。</p>	<p>「減量化・リサイクル不可能なもの」は市の分別対象品目ではない、剪定枝などの木・竹類や製品プラスチック、汚れていてリサイクルできないものなどが対象となっています。</p> <p>2014 年度と比較すると上昇傾向にありますが、近年はほぼ横ばいで推移しています。増加要因は、市民のごみ減量化・リサイクル意識向上等により「減量化可能なもの（主に厨芥類）」「リサイクル可能なもの」の割合が低下したためと考えられます。</p>
10	<p>電子機器廃棄物が増えているとの報道があった。テレワークの推進や学校等へのパソコン等の導入により今後電子機器の廃棄物が増えていくことが予想される。市でのリサイクル体制はどうなっているのか。</p>	<p>家庭から出る電子機器廃棄物を含む小型家電については、拠点回収を実施し、適切にリサイクルしています。パソコンについては、資源有効利用促進法に基づくメーカーによるリサイクルルート案内しています。(家庭から出るノートパソコンは小型家電の拠点回収でも排出可)</p> <p>学校など、事業所から出る電子機器廃棄物については、産業廃棄物として処理され、パソコンについては、上記リサイクルルートによりリサイクルしています。</p>
11	<p>使い捨てカイロの中身を使用した水質浄化が可能との情報をえました。市で回収し、水質浄化に役立てることはできないのか。</p> <p>ごみとして捨てられるものが資源となるなら「SDGs」の持続可能な社会のためになるのではないか。</p>	<p>一部事業者（市外）による使い捨てカイロの中身を使用した水質浄化の取組は確認していますが、導入に向けた検討には至っていません。</p> <p>今後も、SDGs 開発目標の達成に寄与するため、更なるごみの減量化・リサイクルを推進します。</p>
○収集運搬について		
12	<p>52 ページの「ごみ出し支援制度の充実」について、具体的に書いてほしい。</p>	<p>2001 年度に粗大ごみふれあい収集を開始し、2020 年度に生活ごみ、資源を対象に追加した「ふれあいサポート収集」を開始しました。この制度は、高齢者等で集積場等へごみ出しが困難な方を対象にごみ出しをサポートする制度です。今後本制度の評価検証を行いながら、制度充実に向けた具体的な検討を進めます。</p>

### 第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（改定案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

13	39ページの「未分別ごみに対する指導強化」について、具体的に書いてほしい。	未分別ごみの適正排出に向け、生活ごみや資源等の啓発シール貼付による残置（ごみを収集せずにおいてくること）や、対象者への啓発チラシの配布、分別アプリの利用促進など情報発信の強化に向けた具体的な検討を進めます。
14	コロナ下で日夜回収作業に従事している収集作業員への理解を深め、感謝してもらうためにも効果的なPRをしてはどうか。	ごみ収集作業員は、新型コロナウイルスの感染状況や天候にかかわらず、毎日ごみを収集しています。収集作業員に対する励ましや感謝の声が、市民の声や手紙などで多数寄せられており、市に寄せられた声については、収集業者と共有し、広報さかいで一部紹介しています。
○中間処理について		
15	都市計画決定をしていない臨海工場と都市計画決定を取り消さないまま休止中の南工場を今後どのようにしていくつもりなのか。これは堺市が市民に説明するべき問題である。今後の課題の中の〈中間処理〉には、南工場を示唆する記述もあった。本改定案では、将来を見据えて、清掃工場の問題も深く掘り下げていくべきであった。	将来にわたり、安定した処理体制を構築していくために、現状の課題として、施設の老朽化、処理施設の高稼働率による余力不足などがあります。これらのことを含め、次期清掃工場の建設を計画していくうえで、効率的な収集体制を考慮し、市有地であり都市計画決定されている南工場を含め、建設用地の選定を行い、安定した処理体制の検討を進めます。
16	国ではアンモニア火力燃料に関する計画目標を定めたようであり、廃棄物発電の多様化が進んでいるようである。廃棄物発電多様化に向けた研究や検討をしているのか。	環境負荷の低減の一つとして、廃棄物発電による熱エネルギーの有効活用に取り組んでいます。次期清掃工場の建設時には、更なる発電効率の向上が図れる技術の導入やその他の新しい技術などについて情報収集を行い、検討を進めます。
○その他のご意見について		
17	行政機関で作成している印刷物が多い。印刷部数を減らしたり、ホームページ等で公表したり、紙ごみを減らすように、基本計画の中で位置づけて、印刷に係るコストやごみを減らしてほしい。	本市では、印刷物の必要性の精査や配布対象の精選に取り組み、印刷物の削減に努めています。 今後もWeb等ICTの積極的活用に取り組み、市における更なるごみの減量化・リサ

### 第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（改定案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

18	<p>学校での配布プリントを減らすよう工夫をしていくよう教育委員会に対してもっと指導していくように、基本計画に盛り込んでいくべきではないか。</p>	<p>イクルを推進します。</p>
19	<p>小学校から配布プリントが多い。ホームページ等で発信するなど、紙ごみをなくすように工夫してほしい。</p>	
20	<p>市には臨海工業地帯があり、主要幹線道路はコンビニ等店舗も多く、ごみのポイ捨てが絶えない。海沿いの主要幹線道路の清掃活動やポイ捨て防止にかかる広報をどのように進めていくべきなのか。 何か取り組める施策はないのか。</p>	<p>本市では、堺市安全・安心・快適な市民協働のまちづくり条例等に基づき、ポイ捨てや路上喫煙の防止に向け、広報さかい、ホームページ等を通じて、情報発信を行い、不法投棄禁止等の看板の作成・貸与、不法投棄常習地点のパトロール、不法投棄多発地点の監視カメラ設置等不法投棄対策を実施しています。</p> <p>また、道路などに不法投棄されたごみに対しては、道路管理者による清掃のほか、清掃活動を行う市民グループや事業者に対し、清掃活動団体名を示したサインボードの設置、清掃用具の貸与等の支援を行う「アドプト制度」を実施しています。</p>
21	<p>無許可で不用品回収を行う業者への指導・摘発を強化してほしい。</p>	<p>本市では、聞き取り調査や現地確認を実施するなど適宜指導を行い、個別の案件ごとに総合的に判断した上で、悪質な業者に対しては警察とも連携し、指導を徹底しています。</p>
22	<p>【本編】の目次の中で「第3章ごみの処理」の「7. 今後の課題」には、「(1) 将来ごみ量の推計」「(2) 今後の課題」の2項目となっている。「(2) 今後の課題」の中には、「&lt;減量化・リサイクル&gt;&lt;収集運搬&gt;&lt;中間処理&gt;」があるが、目次には掲載されていない。【概要版】では、課題として「減量化・リサイクル、収集運搬・中間処理」と目立つように記載されている。 本編の目次として「(1) 将来ごみ量の推計 (2) 減量化・リサイクル (3) 収集運搬 (4)</p>	<p>ごみの処理において、主にごみの減量化・リサイクル、収集運搬、中間処理、最終処分の4つに分けて施策を検討しております。</p> <p>ご意見を踏まえ、目次を修正いたします。</p>

### 第3次堺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画(改定案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

	中間処理」と明記しわかりやすくするべきである。	
23	57 ページの各主体の役割分担において「ごみを排出する主体」として、メーカーにおける責任や対応がありますが、書いていない。どのように考えているのか。	製造事業者には、製品の生産・使用段階だけでなく、廃棄・リサイクル段階まで責任を負うという「拡大生産者責任」があり、ごみの減量化・リサイクルに積極的に取り組むべきと考えています。